

センターの主な経歴

2014年1月15日
東北大学大学院工学研究科内に、インフラ・マネジメント研究センター (IMC) を設立

2016年9月～2019年3月
内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第1期 の地域実装支援拠点 に採択

2019年3月5日
第1回 日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を受賞
受賞対象技術「東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開」

2021年4月1日～現在
「インフラ情報マネジメントプログラム」共同研究部門 (契約相手方：福井コンピュータ(株))

活動の3本柱

自治体支援 人材育成 調査・研究
技術開発



IMCについて詳しくは
こちらをご覧ください

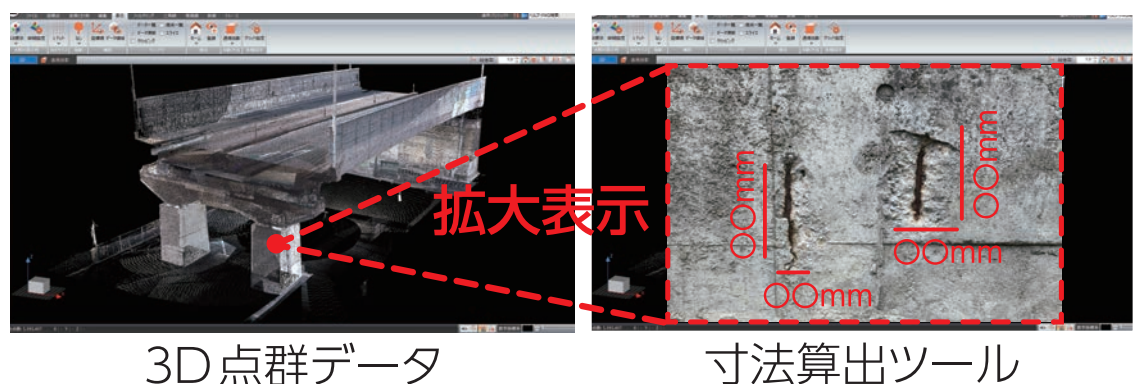


国土交通省「点検支援技術性能カタログ (2023年)」

橋梁の3Dモデル構築と点群計測処理による変状寸法の算出技術
技術番号：BR020031-V0023

3D点群処理システム

「TREND-POINT」(福井コンピュータ製)
を用いた3Dモデル表示・変状寸法の算出



地域実証・見学会



△南陽市(2023年8月)

インフラ情報マネジメントシステムの開発



3次元化技術を活用した実効的なメンテナンスサイクルの確立



2023年4月1日～現在
「インフラマネジメント“足すテナビリティ”」共同研究部門 を開設 (契約相手方：ニチレキ(株))

自治体管理道路の長寿命化に関する地域実証

経済的で平易に長寿命化を図ることができるよう、自治体管理道路向けに新たに試作された複数の
技術の地域実証を実施。



△南陽市(2023年10月)



△島根県(2023年12月)



△牛久市(2023年12月)



△上山市(2023年10月)



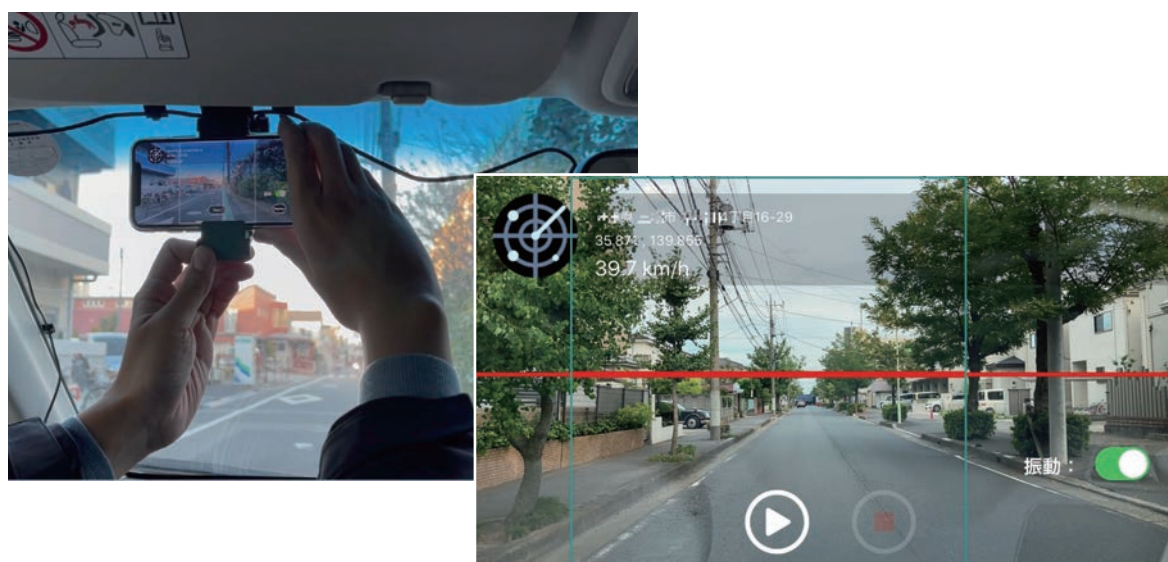
△建設新聞に掲載されました
(2023年10月31日付)

GLOCAL-EYEZ



～スマートフォンによる道路点検DXシステム～

■スマートフォンで誰でも簡単に安価に点検



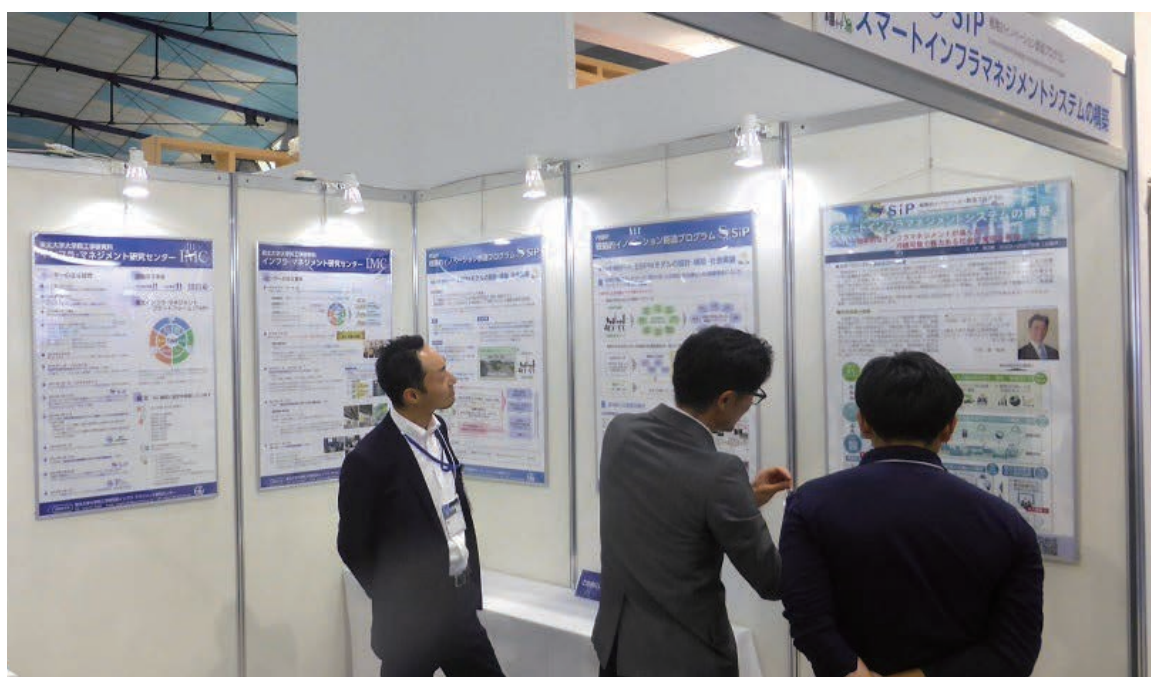
△詳しくはこちら
をご覧ください

2023年9月26日

内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第3期の「スマートインフラマネジメントシステムの構築プロジェクト」に採択

EE東北'24

2024年6月5日～6日(夢メッセみやぎ)



自治体・公共 Week2024

2024年6月26日～28日(東京ビッグサイト)



EBPMによる地域インフラ群マネジメント構築に関する勉強会

日程：2024年4月24日

参加機関：

秋田市、大仙市、上山市、
牛久市、奥出雲町、豊見城市、
福井コンピュータ(株)、
ニチレキ(株) ※順不同



2024年4月12日

国土交通省「点検支援技術性能カタログ (2024年)」に技術掲載

スマートフォンと360°カメラを用いた小規模橋梁の点検支援技術

技術番号：BR010072-V0024

スマートフォンや360°カメラを用いた小規模橋梁向けの橋梁点検、及び変状寸法の算出技術です。
開発者：(株)IML、福井コンピュータ(株)、(公財)鳥取県建設技術センター、東北大学IMC

※(株)IMLは、IMCにて研究開発された技術等を社会実装し、主に地方自治体のインフラマネジメント支援を目的に誕生したベンチャー企業です。

実証実験

①宮城県仙台市
(2023年11月9日)

②島根県
(2024年2月21日)

③秋田県秋田市
(2024年3月14日)

④秋田県大仙市
(2024年7月4日)



お問合せ先

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

